

鋼構造委員会による土木学会田中賞等の候補推薦に関する内規

平成12年11月15日

改正 平成14年5月17日

改正 平成27年10月27日

改正 令和4年5月19日

1. 対象とする賞（部門）

田中賞（業績部門および論文部門），その他本委員会が推薦依頼を受けた賞。

2. 推薦の依頼

鋼構造委員会委員長は各賞推薦受付締切りの1ヶ月半程度前（12月上旬を目途とする）までに，鋼構造委員会委員・顧問に候補推薦の依頼を行なう。

3. 推薦の方法

候補推薦を行なう委員・顧問は，各賞（部門）の推薦書に必要事項を記入し，候補論文および参考論文等のPDFを添えて指定の期日（12月下旬を目途とする）までに鋼構造委員会事務局に電子ファイルを提出する。自薦，他薦は問わない。

4. 推薦選考委員会の設置

鋼構造委員会委員長は推薦選考委員会を設置する。この委員会は，鋼構造委員会の正副委員長，幹事長，幹事および委員長が特に必要と判断して委員・顧問の中から委嘱した者で構成する。

5. 推薦選考委員会の運営

推薦選考委員会は，委員の半数以上の出席により成立するものとし，その議長には鋼構造委員会委員長が当たる。

6. 推薦選考委員会における候補者・候補論文の決定

- 1) 候補者・候補論文は，原則として審議によって決定する。審議による決定が困難と議長が判断した場合には，推薦選考委員会委員により無記名投票を行い，その結果に基づいて決定する。
- 2) 田中賞（業績部門）の候補者は，主に鋼構造の橋梁技術の進歩，発展に顕著な業績を挙げていることに加え，鋼構造委員会への貢献度も考慮して評価する。
- 3) 田中賞（論文部門）の候補論文は，新規性，成果の実用性や有用性，今後の発展性の観点から，主に鋼構造の橋梁工学の発展への貢献度に基づき評価する。
- 4) 推薦選考委員会委員が候補者・候補論文の著者となる場合，当該賞（部門）の審議時には退席する。
- 5) 推薦数は，田中賞（業績部門）は1件，田中賞（論文部門）は3件以下を基本とする。

7. 候補者・候補論文決定後の手続き

決定した候補者・候補論文の推薦書に修正が必要な場合には候補推薦を行った委員・顧問が修正を行い、推薦書の推薦者名を鋼構造委員会委員長として、専用ウェブサイトから応募、あるいは指定されている提出先に提出する。また、提出書類を、鋼構造委員会委員長、幹事長および鋼構造委員会事務局に送信する。